

# Type II 環境ラベル「AT-ECO」対象商品 HIREC100

## モデルと評価条件

### モデル

アンテナの受信面に積雪すると、電波の受信レベルが劣化する現象(電波減衰)が発生する。

対策として融雪用ヒーター付アンテナは、気温が 8℃以下になるとヒーターの電源が入りアンテナを暖め、アンテナに付着した雪を溶かすことで、着雪を防止している。

HIREC100 を塗装したアンテナは、HIREC100 の超撥水機能により着雪を防止している。



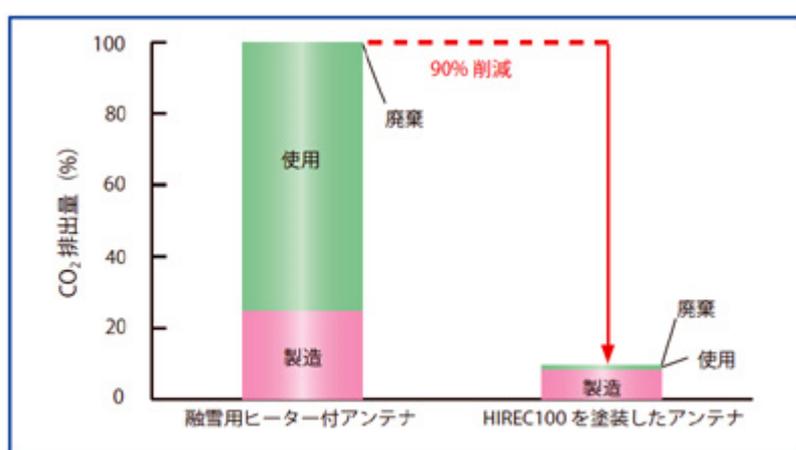
### 評価条件

1 年間の降雪期における BS・CS アンテナの着雪防止

- アンテナ設置地点：札幌、金沢、東京
- 融雪用ヒーターの稼働時間：札幌:3,600時間、金沢:2,400時間、東京:1,500時間(過去5年間の各地点の降雪期における、気温が8℃以下となる1年間の平均値)
- HIREC100を塗装したアンテナの評価には、HIREC100の容器、及び倉庫での保管も含む。

## 評価結果

金沢の場合：90%削減



グラフは、融雪用ヒーター付アンテナを100とした割合を表しています。

札幌の場合：93%削減

東京の場合：86%削減